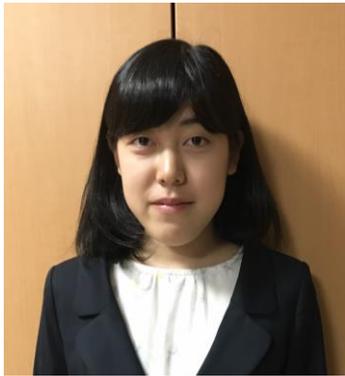


|            |                               |      |     |   |
|------------|-------------------------------|------|-----|---|
| ふりがな<br>氏名 | たかはら みなこ                      | 都道府県 | 北海道 |  |
|            | 高原 実那子                        |      |     |   |
| 所属/肩書      | 酪農学園大学農食環境学群環境共生学類            |      |     |   |
| 私のESD活動    | 札幌市民に対する環境教育と大学での国際交流と環境教育の活動 |      |     |   |

### 活動の概要

私は大きく分けて2つの ESD 活動をしている。1つ目は、札幌市環境プラザの学生サポーター制度「あそ+エコ(あそえこ)事業部」での活動である。具体的には、環境プラザの事業である「エコ育広場」と呼ばれる環境教育プログラムや、ワークショップのサポートを行っている。また、学生サポーターで企画している小学生以下を対象とした図鑑作りなども行っている。この図鑑は調べることが目的ではなく、子供たちに外に出て自然に触れてもらうことが目的である。そのため、ミニゲームやクイズを取り入れて、調べた後に、確認して納得するために自然に外に出たくなるような仕組みになっている。2つ目は酪農学園大学国際交流サークル SukaRela での活動である。SukaRela では、外国人と交流するだけでなく、中国の内モンゴル自治区での緑化活動や環境教育、マレーシアのボルネオでの熱帯雨林の再生事業団体のサポートなどを、酪農学園大学の特性を生かして、学生が主体で行っている。私は、内モンゴル自治区での現地の方に向けた砂漠化に関する環境教育を担当していて、実際に9月上旬に現地を訪問し、活動する予定だ。

○「酪農学園大学国際交流サークルスカレラ Facebook ページ」 <https://www.facebook.com/nahiyafund>

○「札幌市環境プラザHP」 <http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>

### 今後の活動や協働への展望

コンファレンスの参加者は、学生ではなく仕事として ESD を実践している方も多いと思う。コンファレンス終了後も連絡を取り、環境プラザや大学でイベントなどを企画して、知り合った参加者の方を講師として呼びたい。また、参加した学生同士でコミュニティーを作り、継続的に情報共有をしていきたい。自分が学生であることをフルに活用して、お互い繋がりのある学生たちと交流を深めて、コミュニティーを大きくし、自分自身も ESD の取り組みを発信していきたい。

私が通う酪農学園大学には、将来、環境調査官など、環境のプロフェッショナルになる人も多い。将来的には、そうした人と教育に関わる人を繋げることができるようになりたい。